



うちかわだより



秋の全国交通安全運動

連日猛暑が続きますが、夏季シーズンも終わりに近づき、秋の訪れを少しずつ感じさせる季節となってきました。

9月に入ると次第に日照時間が短くなり、交通事故の件数も例年増加傾向にあります。

秋の全国交通安全運動を機に、もう一度交通安全について考え、交通事故に遭わない方法や工夫により交通事故防止に努めて下さい。

実施期間 令和6年9月21日(土)から30日(月)までの間

交通安全運動の重点目標

- 1 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- 3 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール厳守の徹底



事故防止ポイント!!

子どもと高齢者の交通事故防止

子どもが安全確認をせずに飛び出す可能性や、高齢者の身体能力低下に伴う無理な道路横断による交通事故が多数発生し、最悪**死亡事故**にも直結します。

歩行者は、保護者のサポート若しくは、身体能力の過信に伴う無理な道路横断を避け、横断歩道や交通ルールに則り、「**確実に・安全に**」道路を通行して下さい。

運転者は、先ほどお話しした子どもや高齢者の行動パターンを理解して減速をする等、事故を防ぐ行動(**予測運転**)をしながら交通事故防止に努めてください。

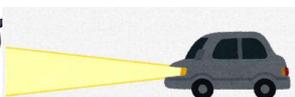
薄暮時・夜間の交通事故防止

薄暮や夜間帯を通行する歩行者は、**明るい色の服装や反射材、懐中電灯**等を活用して、自分の存在を他車にアピールし、交通事故に遭わない工夫をしましょう。

※ 車の運転者は、夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛け、こまめなライトの切替えて**ハイビーム**を活用し、暗闇に潜む危険の発見に努めましょう。



※ ロービームは**約40メートル**先まで照射します。



※ ハイビームは**約100メートル**先まで照射します。

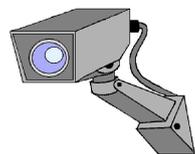
豊岡市内で車上狙いが連続発生しています。



8月17・18日を中心に豊岡市内で複数の車上狙いが発生しています。今一度、車内やその周辺の点検



- ・車の施錠は確実にしているか。
- ・車内に貴重品等は置いていないか。
- ・防犯装置の設置・検討。
- ・夜間でも照明設備等で明るさと見通しが確保されているか。



等、できる防犯対策は確実にを行い、被害防止に努めて下さい。



駐在さんのひとごと



最近自宅でメダカの飼育を始めました。きっかけは、息子のかなたがメダカを飼いたいと言ったのが始まりでした。先日、妻の実家へ帰省したのですが、そこでは自宅の庭でメダカを飼っており、そのメダカを3匹いただき持って帰ってきました。私は、正直生き物を自宅で飼うことに少し抵抗がありました。4歳の息子は、生き物の飼育をしたことがないので、メダカの管理をすることができないため結局私がメダカの飼育をすることになり、それがすごく面倒に思えたからです。

自宅でメダカを飼い始め、しばらくした後息子になぜメダカを飼育したかったのかを聞いてみました。

息子は、毎日城崎こども園に通っているのですが、そのこども園ではさまざまな生き物を飼育しているそうで、その中にメダカもいるそうです。

メダカが水槽の中を気持ち良さそうに泳いでいるのを眺めていると、自分も楽しい気持ちになり家でもメダカが泳いでいるのを見ていたいと思ったからだそうです。

息子がいろんなことに興味を持つことは良いことだと思うのですが、私は今まで一度もメダカを飼育をしたことがなかったので、一からメダカの飼育について勉強しなければならず、妻も含め調べごとに時間を取られ、慌たしい毎日を送ることになりました。

携帯電話で調べてみたい、図書館でメダカの飼育本を借りに読んでたくさん調べました。

今使用している水槽は、とても小さな水槽で比較的管理はしやすいのですが、さすがにほったらかしには出来ないで、定期的に水槽の掃除を行います。

この間、その水槽の掃除を行っていたところ、息子が「僕も手伝う！」と言って水槽の水の入れ替えやゴミの除去等、私と一緒に手伝いをしてくれました。

綺麗になったメダカの水槽を息子と眺めていると、「水槽の掃除楽しかったねえ。」「僕もちゃんとメダカを飼うの手伝うからね。」と息子が言いました。

息子は、私が思っている以上にちゃんとメダカを飼育しなければいけないと、頑張っているのかもしれない。

そのような息子の姿を見て、日々成長しているのを感じる今日このごろです...

